

ロゴマークはブランドの顔 商標権を獲得して 事業拡大を 加速！



利用のきっかけ

★ 当園は 36 代続く果樹園農家です。2020 年、新たに柿の加工製品事業を手掛けるにあたり、屋号を「松田果樹園」から「松田果樹園+（プラス）」と改めてホームページを刷新しました。同時に、果実及び加工製品の統一ブランドとしてのロゴマークの制作を依頼したデザイナーより、INPIT 知財総合支援窓口を紹介していただきました。

事業上の課題

★ 奈良県には柿農家が多く、それぞれにロゴマーク（らしきもの）を設けていて、類似したものが少なくありません。ロゴマークはブランドの顔でもあるため、安易に真似されては独自性を主張できなくなります。そのため、商標権を取得して類似ロゴマークの登録や使用を防ぐことが事業運営上の大きな課題でした。

INPIT 知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

- ① 商標出願にかかる支援
- ② 新商品開発における助成金申請支援
- ③ ジェラート・果実販売店の開設の支援

活用した専門家

弁理士 中小企業診断士

松田果樹園+（プラス）

所在地
設立年
業種
従業員数
ホームページ URL

奈良県天理市
2020 年
農林水産業
15 人
<https://matsudakajuen-plus.com/>



知財ポータル
窓口支援事例



農林水産業

近畿

利用後の変化

INPIT 知財総合支援窓口との出会いによって事業拡大のスピードが加速しました。商標権を取得した統一ブランドのロゴマークで、果実のネット販売、果実ジェラートやドライフルーツ、ジャムなどの加工製品をコンビニエンスストアや道の駅に販売展開して売り上げが拡大しました。同時にブランド認知度も高まっています。更に、県の助成金を活用して開発した高級ジェラートは、天理ブランド認定制度に申請しました。また、2025年に開催される大阪万博でのインバウンド需要を取り込むために、ジェラートと果実のお店を開設する予定です。

ご利用を検討される事業者さまへ



本業に勤しみながら、商標の出願を自分一人でやろうとしたら相当な労力が必要だったと思います。INPIT 知財総合支援窓口の支援担当者が“商標出願の基礎知識”を丁寧に教えてくださり、また、その時々でベストな専門家を紹介してくださったおかげで、スムーズに出願することができました。当初は、「商標権は事業拡大を加速させる知財である」という認識はありませんでしたが、お付き合いを通して知財の可能性を学ぶことができました。INPIT 知財総合支援窓口は、商標権取得の支援のみならず、新しい一歩を踏み出した私どもにとっての“頼りになるビジネスパートナー”という役回りも果たしてくださっています。

松田果樹園+ 代表 松田通史様